

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

膵管内乳頭粘液性腫瘍の再発因子および再発に対する治療の検討

1 研究の対象

2005 年 4 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までの間に、JA 北海道厚生連札幌厚生病院外科で膵切除術を受けられた方

2 研究目的

膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)は手術で切除した後にも再び IPMN や通常型膵癌が発生することがあります。予後を改善するためにはこれらの再発病変の早期発見と適切な治療介入が必要です。IPMN 国際診療ガイドラインにおいても IPMN 切除後の至適経過観察法や再発に対する治療についてはエビデンスが乏しく、いまだに議論が残る課題です。そこで、本研究では IPMN 切除後の再発因子と再発に対する適切な治療について検討を行います。

3 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、性別、既往歴(閉塞性黄疸、膵炎、他臓器癌)、腫瘍マーカー(CEA、CA19-9、DUPAN-2)、術前治療、術式、病理診断、術後治療、術後生存期間、術後再発期間、再発形式、再発後治療など。

4 研究組織

当院単独での研究です

5 情報の提供先・提供方法

他施設への情報提供はありません

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎:代表 011-261-5331 内線 4902）

研究責任者:外科 脇坂 和貴

問い合わせ担当者:外科 脇坂 和貴